

# 第14回 ジュニア俳句大会

## 入賞作品集

### 大会賞

びっくりだ せみのぬけから うごいてる

井口小学校 二年 青木 美晴

あおき みはる

評

抜け殻にも命を感じてびっくりしたんだね

じいじのて にぎってつけた はなびかな

羽沢小学校 一年 荻田 栞

おぎた しおり

評

小さい子の不安な気持ちがよく伝わってくる

ひまわりは 地面ではじける 花火だよ

第二小学校 四年 菅原 彩華

すがわら あやか

評

ひまわりを「地面ではじける花火」としたのがとてもよい

## 優 秀 賞

透き通る風の涼しさ 心太

第三小学校 五年

まつお さゆみ  
松尾 彩弓

評 きもちのよい風と心太のとりあわせがとてもよい

手と手と手 つないで祈る 終戦日

第五小学校 五年

のなか ともよし  
野中 友善

評 平和をもとめる人たちの気持ちがよく伝わる

きゆうしよく中 ひっしにしゅわで 会話する

高山小学校 三年

くにい えみ  
國井 瑛美

評 給食中おしゃべりはダメ。そのようすがよくわかる

あしすわてへへへへするな かえりみち

第一小学校 一年

まえしま いちか  
前島 一花

評 本当に今年の夏は暑かった。「べらべらする」で暑さがよくわかる

波じゃなく 電車に揺られ 夏期講習

第六小学校 六年

おざわ かずき  
小澤 一樹

評 夏休みも切り上げ、けんめいに勉強する姿が見えてくる

持ち上げて 氷がかなでる 麦茶の香

第五小学校 六年

なかしま まりか  
中島 茉莉花

評 氷のカランという音と麦茶の香りが漂ってくる

朝顔は 光ほしくて つるのばす

第五小学校 三年

のなか あいか  
野中 あいか

評 光を求めるのは朝顔も人間も同じ。つるに生命力を感じる